

第2期 飯島町スポーツ推進計画（概要版） —スポーツでつなげ！人の輪(和) 地域の輪(和)—

計画策定の理念・趣旨

ますます進む少子高齢化や情報化社会の進展、景気の低迷といった社会の変化や、個人の価値観・趣味の多様化など、ライフスタイルは第1期飯島町スポーツ推進計画策定時より変化し、その影響は飯島町全体のスポーツ活動にも現れています。その一方、人間関係の希薄化や競争激化社会にあって、スポーツの価値や必要性が見直され、重視されている面があります。

もとより、スポーツは、心身の健康の保持増進に重要な役割を果たし、幸福で豊かな生活や健康長寿社会の実現に欠かせないものです。スポーツ活動の推進は、人と人、地域と地域の交流を促し、地域の一体感や活力の醸成に寄与することから、まちづくりを進める上できわめて有効といえます。町民が生涯にわたってスポーツに親しみ、主体的に参画するための環境整備をさらに進める必要があります。

スポーツ活動は人の暮らしに潤いをもたらす、体力だけでなく人間性も向上させることができます。そうした個人がチームや家族や地域でつながり合い、自らの足で立ちながら他者と支え合う関係が広がります。人と人の和が生まれ、つながった輪はやがて地域の和を生み、さらに地域の輪を広げて元気なまちづくりにつなげることができま

計画の位置づけ

「飯島町第5次総合計画」「飯島町教育大綱」及び「飯島町生涯学習推進計画パート5」に対応する体育・スポーツ分野の個別計画として位置づけ、今後のスポーツ推進のために必要な具体的施策を推進するための計画とします。

計画の期間

本計画は、平成30年度（2018年度）からの5年間を対象期間とします。

施策の推進体制

本計画の推進には、町民・スポーツ団体などがそれぞれの役割を認識し、お互いを尊重しながら協働して施策を展開することが重要です。特に、スポーツに関わる飯島町スポーツ推進委員会・飯島町スポーツ連絡協議会・飯島町少年スポーツ団体連絡協議会・飯島町総合型スポーツクラブは、互いに理解し合って柔軟な対応がとれるよう、情報交換を図り連携を強化することが求められます。

町民の理解と協力

飯島町スポーツ推進委員会 飯島町スポーツ連絡協議会

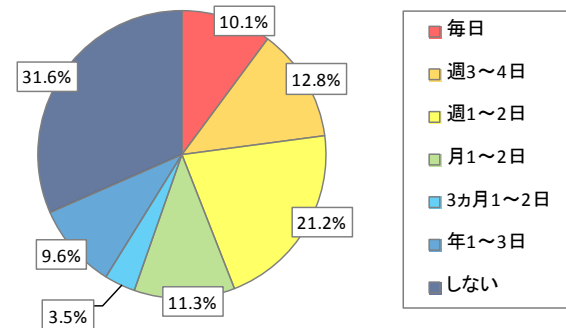
飯島町少年スポーツ団体連絡協議会 飯島町総合型スポーツクラブ

保育園・小学校・中学校 公民館 町関係部署

現状と課題

- 幼児が屋外で多くの友達と関わりながら遊ぶことや、親子で体を動かすことが少なくなっています。
- スポーツに親しむ子とそうでない子の二極化がみられます。
- 少子化による部活動の存続、顧問の不足などの問題があります。
- 20～50歳代は、スポーツの価値や必要性を理解していても、働き盛りで行動に移せない状況にあると思われます。
- 60歳代の「スポーツをしない、できない理由」は、「多忙」を挙げる率が32%を占め、「身体的な理由」が22%となっています。
- スポーツをほとんどしないと答えた成人の割合は31.6%と、前回調査の27.3%を上回っており、この割合を下げる方策が求められます。

飯島町民のスポーツ実施率（20歳以上）



※平成28年「飯島町生涯スポーツ調査」による(対象者1,000人(無作為抽出)、回答者369人)

- 町内に多くの運動場や体育館があることは町民の生涯スポーツ推進にきわめて有効と考えられます。
- 体育館や運動場の設備・器具を日常的に点検・確認し、安全に使用できる状態を保つことが必要です。
- 日ごろからトップレベルの競技スポーツに取り組んでいる町民もいますが、生涯スポーツとして楽しむ向きが多いのが現状です。
- 少年スポーツ団体には、種目ごとに保護者をはじめ地域の指導者が積極的に関わっており、競技力の向上はもちろん子どもたちの健全育成に努めています。
- スポーツを通じた地域の一体感や活力の醸成が望まれています。
- スポーツの明るい話題は当事者だけでなく周りに元気を与える力をもっています。
- 生活習慣病予防のための身体運動は、青壮年期から取り組む必要が指摘されています。
- 町広報紙や町ホームページへの情報掲載に加え、SNS等を活用した情報発信が必要です。

【飯島町第5次総合計画 施策方針】

誰もがスポーツに親しむことのできる「生涯スポーツ社会」の実現

【第2期 飯島町スポーツ推進計画】

スポーツでつなげ！人の輪(和) 地域の輪(和)

基本理念

- ① 地域の次代を担っていく子どもたちが、スポーツを通じて規範意識を身につけ、他者との協働を学び、心身ともに健全に成長する町をつくる
- ② 町民一人一人がその自発性の下に、年齢や性別、障がいの有無を問わず、それぞれの関心や適性に応じて日常的にスポーツに親しみ、スポーツを楽しむ町をつくる
- ③ スポーツを通じて健康を保持増進し、活力に満ちた長寿の町をつくる
- ④ スポーツを通じて人と人が深い絆でつながり、主体的な協働により地域を発展させる町をつくる

基本目標と施策の展開

- 1 生涯を通じたスポーツ活動支援体制の充実
 - 保育園・小中学校の取り組みを拡充
 - ニュースポーツの普及促進
 - 施設や備品の適切な安全管理 等
- 2 スポーツ実施率の向上
 - 参加しやすいスポーツイベントの開催
 - 「体育館開放日」利用促進
 - 町スポーツ大会の充実 等
- 3 住民が主体的に参画する環境の整備
 - 総合型スポーツクラブの充実・発展
 - スポーツ団体の活動支援・交流促進
 - 施設や備品の情報提供 等
- 4 競技力の向上
 - トップレベルの選手の発掘・育成
 - スポーツ連絡協議会指導員の体制拡充
 - 少年スポーツ団体への支援 等
- 5 地域の元気力アップ
 - スポーツの話題を発信
 - 「する」「観る」「支える」スポーツの情報提供
 - 広域大会・スポーツ合宿への協力 等

目指す5年後の姿

- ◎ 町民だれもが、年齢、体力、目的に応じて安全にスポーツに親しむための支援体制が充実している
- ◎ 生涯スポーツ社会の意識が高まっている
- ◎ 週1回以上スポーツする町民が65%、週3回以上の町民が35%以上、1年に1度もしない町民が10%以下となっている
- ◎ 町スポーツ大会の参加者が増加している
- ◎ 総合型スポーツクラブが定着し、スポーツ連絡協議会加入団体・公民館などと連携して町全体のスポーツ推進を担っている
- ◎ 町民によるスポーツ施設の気軽な利用が広がっている
- ◎ 全国の舞台で活躍する飯島町の選手やチーム、県内で注目される飯島町の選手やチームが増加している
- ◎ スポーツイベントに大勢の町民が関わっている
- ◎ スポーツを通じた町外との交流や健康増進の取り組みが進み、「元気な飯島町」が実感できる